

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	障害児保育補助事業	所管	保健福祉部 保育課
			TEL 2998-9126

事業の目的 (何の為に 行うか)	保育園及び幼稚園に在園の障害児の適切な処遇をし、障害のある児童を健常児と共に保育することにより、お互いの成長を促進させる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	民間の保育園・幼稚園	対象とした数	45	園
		実際に 利用した数	31	園

活動の内容	(何を したか)	1障害があるが健常児と集団保育することが可能であると診断・判定した障害児が補助対象。 2民間保育園・幼稚園から対象児童の状況を添付した交付申請書が提出される。 3市の担当者による観察後、補助対象者として決定される。 4補助金は障害児担当保育士等の雇用費として、対象障害児一人当たり、保育園80,000円、幼稚園21,300円							
		活動実績	項目名	補助対象児童数	93	項目名	受け入れた施設数	31	項目名
				----- 単位 人			----- 単位 園		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	69,836	63,556	64,308	189.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受け入れた施設数	障害児を受け入れた保育園等の数	45	31	68.9
			----- 単位 園	----- 単位 園	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合		改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕		終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040600	TEL	2998-9126		
事業コード	障害児保育補助事業							
040617								
開始年度		昭和	59	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	次世代育成支援行動計画			所沢市障害児保育事業費補助金交付要綱					
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱	(1) 保育事業の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20
事業開始の背景	昭和55年厚生省の指導で、保育に欠ける障害児の保育所での受入を推進する方針が示された。これを受け、市立保育園では障害を有する児童の保育を実施してきたが、障害を有する児童の保育を積極的に実施する民間保育園に対して、財政的支援を行う必要があるため。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	保育園及び幼稚園に在園の障害児の適切な処遇をし、障害のある児童を健常児と共に保育することにより、お互いの成長を促進させる。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	民間の保育園・幼稚園					障害児を受け入れた民間の保育園・幼稚園				
	対象数	単位	平成 18 年度	44	園	利用数	単位	平成 18 年度	31	園
		平成 19 年度	45	園			平成 19 年度	31	園	
事業の具体的な内容及び実施方法										
1障害があるが健常児と集団保育することが可能であると診断・判定した障害児が補助対象。 2民間保育園・幼稚園から対象児童の状況を添付した交付申請書が提出される。 3市の担当者による観察後、補助対象者として決定される。 4補助金は障害児担当保育士等の雇用費として、対象障害児一人当たり、保育園80,000円、幼稚園21,300円										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			69,836	75,380
	決算 (見込み含む)			63,556	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	人	0.08 人	752	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		0	64,308	
	財源内訳	一般財源	0	62,484	72,980
	国・県支出金			1,824	2,400
	受益者負担金				
市民一人当たり(単位:円)		0.0	189.7		
利用数一単位あたり(単位:円)		0.0	2,074,436.1		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	補助対象児童数	障害児保育補助対象児童数	人	84	93	95
		受け入れた施設数	障害児を受け入れた保育園等の数	園	31	31	45
	成果分析	受け入れた施設数	障害児を受け入れた保育園等の数	園	目標値 42	45	45
				%	実績 31	31	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				達成率	73.8	68.9	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	混合保育園審査会において承認された児童の補助金額の見直し。		
	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成21年度における事業の方向性	混合保育園審査会で承認された障害児の受入園を民間保育園全園にする。(現在25園中、14園) 全保育園 20年度末			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	保育園における障害児保育の必要性は大きく、今後も事業を継続していくことが必要である。			
評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	保育課長 野村孝行	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
	評価日						
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	評価理由						
	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2153
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
	主要課題	1すべての子育てで家庭への支援		
	施策の方向	5障害児施策の充実		